

北九州地区労連ニュース

2024年10月号 No. 216

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

TEL 093-921-0747 Fax093-921-0284

メール k_oren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

ホームページ https://kitakyushu-roren.sakura.ne.jp/

解雇・残業代未払い・パワハラ

あきらめなくて電話して下さい

秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料

TEL093-921-0747

メール k_oren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

総選挙で 政治を変えよう

9月30日北九州地区労連として小倉駅で10月5日から福岡県の最低賃金が992円になることと全国一律最低賃金制度の実現の運動を訴えました。

物価高騰に苦しむ市民をしり目に岸田前政権は、2023年から2027年度にかけ、防衛費を総額43兆円にするとしています。

2022年度までの防衛費は5兆円台でしたが、2023年度は6兆3千億円、2024年度は8兆5千億円を超えました。

一方で法人税・たばこ税、所

得税などの増税を決めています。が、今必要なのは、脅威をおおつての軍拡や増税ではなく、国民生活を支援する事です。

自民党の総選挙では、パーティー券での裏金問題や統一教会との癒着問題など解決をめざす人は、いませんでした。これでは、自民党の利権体質は、変わりません。

石破さんに自民党総裁が決まり、10月27日に総選挙が行われます。

自公政権に「ノー」を突きつけ、私たちのくらしをよくする政治の実現を目指すことも重要と参加者は、市民に呼びかけました。

◆最賃992円に

今年の春闘では、30年ぶりの高額回答と言われましたが、物価は上がり続けるために6月まで実質賃金は、24カ月連続で下がり続けていると報道されています。

福岡県の最低賃金は、中央審議会の目安500円を1円上回り、992円になります。全国平均の1055円にも届きません。この額では健康で文化的な生活ができません。日本のGDPの5割以上は個人消費です。経済の好循環をつむぐためにも最低賃金を1500円に

することが急がれます。

◆早く1500円に

時間額992円となる最低賃金ですが、日本国憲法第25条には、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上に努めなければならない」とあります。

北九州地区労連は、福岡県労連とともに「ゆとり」をもって生活するために必要な賃金を調査しました。5年前でその額は、1500円でしたが、今年の物価上昇は、本当に狂乱物価です。お米が異常な値上がりしました。お米が5キロが3000円になっていきます。値上がりラッシュのなか再度、最低生計費を調査したところ、時間給1700円必要となっています。

1500円を岸田前首相も「必要な額で早く到達したい」とした額です。

◆徳島県で大幅引き上げが

今年の地域別最低賃金の見直しは、政府の中央審議会が全国一律500円を答申しています。地方の最低賃金審議会のうち、27県が、この目安を上

回る引き上げをしています。

なかでも徳島県は、徳島県の地域経済発展のため、大幅見直しが必要と知事が審議会に、申し入れをし、中小企業対策も約束して84円と大幅に引き上げました。

徳島県議会での知事の説明では、「徳島県の最低賃金が全国2番目に低い状況が、県民とくに若者の将来に対する不安感を増幅させ、近隣県との人材確保競争においても大きなハンディキャップとなっており、この状況を打開し、本県が活力に満ち、持続可能な県として発展していくため、最低賃金審議会において積極的な引き上げに向け十分審議いただくよう要請した。

一方、今回の賃金改定が県内中小・小規模事業者と与える影響や課題、必要支援について、まずは事業者にしっかりと聞きするとともに国の予算で今年度約6000億円、来年度概算要求で約7000億円に及び関連予算を活用しながら、今後の支援策を検討していくと説明しています。

知事が動けば最低賃金も大きく動きます。北九州地区労連は、福岡県知事に中小企業への支援策と最低賃金の引き上げを求めています。



考えよう!

子どもと食と教育

食(学校給食無償化)と「人権」教育をテーマに第12回北九州人権問題公開講座が、9月16日に小倉南生涯学習センターで60人の市民が集い開催されました。

司会の佐野さん(全教北九州)は、「教科書は、かつて有料だったが、今では無料になっている。給食や学校活動費も無償化が必要ではないか。子どもたちは、遊ぶ時間が奪われているのではないか。子どもたちを取り巻く状況を学びたい」とシンポを始められました。

実行委員長の三輪さんは、「すべての子どもたちの健やかな成長のため学びあいましよ」と開会あいさつされました。



◆給食止まる危機も

学校給食無償化をめざす会の宮崎さんは、「ひびきの小の保護者だが、3月保護者に給食パート募集のチラシが配られた。4月からの給食提供が心配された。パートは何か集まり、その半数以上は保護者。原因は委託がギリギリまで決まらなかったこと。5年前から5%しか上がらない契約金で給食づくりは赤字で大変という悲鳴の数々が報道されている。適切な税金投入が必要になっている。食育基本法で給食は食育となっている。教育の一環であり、無償化が必要と運動している。9月26日に市議会に署名を提出する」と報告されました。

◆安全・安心な給食を

市職労で学校給食の元調理員の前田さんは、「4年前から特別支援校を除く学校給食は委託となった。委託校はリーダーとサブが正規で後はパートが規模に応じて配置される。直営は、8時半からの仕事で特別支援校の調理士が定期的に給食の質が低下しないよう、委託校訪問している。責任者は、7時から給食を作り始めることもあり前処理が確認できない。



中学校は、小学校でつくって運ぶ、親子方式。作り上げて1時間以上かかるので、どんな給食になっているか心配。巡回訪問で指摘しても委託のやり方でやるうとすることがあり、市のやり方を守る苦労もある」と今の調理士の苦労も話しました。

◆教育熱心な自治体も

全教北九州の大島さんは、「上毛町の外国語の臨時講師をしているが、上毛町の学校給食は、委託だけと自校でご飯を炊き、地元の野菜を提供していて、おいしく感じる。外国語の担当を配置し、海外へのホームステイやタイからの受け入れのホームステイもしている。6人から24人の少人数で学ぶ場もあり、少人数級の必要性を感じている。話は変わるが、児童生徒支援加配という制度

があるが、学校は一人でも多くの先生が欲しいのに同和加配とちがうと書いてあるのに解同がかかわって配置されている。同和問題を取り立ててやる必要があるのかと思う」と上毛町と北九州市の違いも話ししました。

◆子どもたちの成長のために

人権連の植山さんは、「埼玉県は、すべて学校給食無償化。福岡県でもさらに進めたい。同和問題で福岡県は、我々が反対した隣保館に限定したアンケートをしたが、回答の9割は差別を受けたことではないと答え、受けたという人も10年以上前が6割。人権問題が学校では、イコール同和問題というが、現実には同和差別はない。任意の団体の研修に先生が勤務中に行っていることを教育委員会は黙認。同和問題は、人権問題のトップでないのは明らかで学校で教えることや教科書に書くことで子どもに差別を教えることになる」と教育委員会の問題点を指摘しました。

それぞれの報告後、会場からも発言があり、主に「学校給食無償化は市民から求められている」「発言があり、運動を広げることが確認されました。

雨あがり

9月と10月に朗報が二つありました。

一つは袴田巖さんの再審無罪が決まったこと、もう一つは日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞したことです。

私は1956年生まれで今年68歳です。私が生まれた年に被団協は結成されています。10フィート運動で集められたフィルムをもとにした「にんげんをかえせ」を観た時の衝撃を私は忘れられません。背中一面にやけどを負った谷口稜暉さん、顔に大きなやけどを負った山口仙二さんなどは故人となられた方やたくさんの被爆者や支援者のたゆまない運動が今回のノーベル平和賞につながりました。

袴田巖さん、事件から58年かかってやっと無罪が確定しました。死刑確定判決から44年。無罪を訴え続けてきた巖さん、再審を求め続けてきた姉のひで子さんと弁護士、支援者の方々の闘いが無罪判決を勝ち取りました。

この二つの朗報は「諦めなければ負けない」という辺野古の闘いにも通じるものがあると私は思います。

不正に夕の 自民党総裁選

10月5日憲法共同センターは、小倉駅で定例宣伝をおこないました。

自民党の総裁選挙が終わり、石破総裁が決まりました。

総裁選では、事実上メディアの多くが自民党の本質に切り込むのではなく、自民党の思惑通り、国民の総裁選への期待をおおる報道に終始しています。

岸田前首相が統一教会との癒着や政治資金パーティーでの裏金事件をめくり、何ら解決策を示さず、政治不信を招き政権を投げ出したも同然の、総裁選不出馬に追い込まれたことは、間違いありません。

その岸田前首相が何をしてくたか、検証することが必要です。

岸田政権では、安保3文書を



見直し、敵基地攻撃能力、岸田前首相は「反撃能力」と言っていますが、こうした攻撃能力を保有するために防衛費を、これまでのGDP比1%の5兆円から2%の10兆円に見直すとなりました。

今年度すでに8兆5千億円の防衛費になっていますが、軍事費は財源を確保しているのに比べ、子育て支援は医療保険の値上げや社会保障の削減など国民に負担と犠牲を押しつけているのが現実です。

◆身近に迫る戦争の危機

身近な平和の問題では、北九州空港が「特定利用空港」に指定され、有事だけでなく平時でも軍事利用される危険が生じています。

築城基地は、米軍との共同訓練がすでに行われています。

アメリカに引っ張られ、日本が敵国としている中国ですが、日本の経済は中国との関係なしに成り立たないところまで来ています。

それよりも外交努力で、対立の無い良好な関係を築くことが必要です。

「安心してくらせる政治を実現するためにも、平和憲法を守り、私たちの生活を守る政策実現の声を」と参加者は訴えました。

ガザに平和を

10月7日平和をあきらめない北九州ネットは、小倉駅で「イスラエルのガザ侵攻は直ちに止めろ」の思いを広げるために宣伝行動に取り組みました。

イスラエルとハマスの軍事衝突が昨年10月7日にあり、1年経ちます。

イスラエルのガザ侵攻で4万人を超える市民と国連職員も228人が死亡しています。

ハマスの拠点を攻撃するとイスラエルは主張していますが、イスラエル軍の侵攻は、ほとんど南部方面まで拡大し、190万人の避難民を追い詰めているのが現状です。

人の住めるような家はなく、わずかな食糧で飢えをしのぐ、汚れた水を飲み、蔓延する感染症におびえながら爆撃の恐怖に身を寄せ合って耐えているとの報道もあります。

◆非難される

イスラエルとアメリカ

また、イスラエルはレバノンへの空爆も始めています。レバノンのシリア派を攻撃することがイスラエル国民を守るためだとしています。

地上侵攻への懸念が出る中で、EUも9月30日、「さらな



る軍事介入は、状況を悪化させる」とイスラエルに自制を求めています。レバノンへの人道支援16億円も決めました。

国連では、イスラエルのガザ侵攻について、停戦決議や「ネタニヤフ首相への責任を問う決議」など加盟国の8割が賛成し、採択されています。

イスラエルの残虐なガザ攻撃について、イスラエルとその最大の支援国、アメリカに対して批判が国際的にも広がっています。

◆戦争を拡大するネタニヤフ

こうした批判が高まる中、イスラエルは9月27日レバノンに空爆を行い、ハマスと連帯する、ヒスボラの指導者ナスララ氏を殺害したと報道されています。

イスラエル軍の空爆は、続け

られレバノン保健省の発表によると1日未明で過去24時間に少なくとも95人が死亡、172人が負傷したと報道されています。

イスラエルのネタニヤフ首相は、国連の演説で「レバノンへの攻撃も「ガザ侵攻」も止めるつもりはないことを強調しました。

◆平和には対話

イスラエルの方のお話、新聞に載っていました。

その方は、いとこが10月7日の朝、サイレンが鳴り、ハマスの奇襲に家族や集落を守るために外に出ていき殺害されたそう、今も悲しみを乗り越えられません」の延べ、「ハマスに拉致された人質の中には、イスラエル軍に撃たれて殺された人もいます。イスラエル軍の接近でハマスに処刑された人質もいます。軍事作戦は、人質を救わず殺している。イスラエルでは、人質の解放と停戦を求めるデモが毎週あります。ネタニヤフ政権は、私たちの意思を代表していません」と連帯を呼びかけています。

参加者は、「こうしたイスラエルの市民とも連帯し、『残虐な侵攻を止めろ』の声を大きく広げよう」と訴えました。

労働法コラム 第115

解雇規制の緩和とは



黒崎合同法律事務所

溝口 史子 弁護士

この解雇権濫用法理は、整理解雇の場面にあつては、整理解雇の4要件（人員削減の必要性、解雇回避努力、人員選定の合理性、解雇手続の相当性）として具体化されています。

今回、候補者の1人が訴えた「解雇規制の緩和」とは、大企業について、労働者に対するリスキリング（学びなおし）や再就職の支援を行うことを義務付けた上で、解雇権濫用法理のうち解雇回避努力に関する規制を緩和するものです。この候補者は、規制緩和により雇用の流動性が確保され、必要な人材が必要な場所で輝ける、賃上げや人手不足、正規・非正規格差を同時に解決できる、と主張しました。

しかし、労働者の転職やリススキリング（学びなおし）は、あくまでも労働者の意思により自発的になされるべきものです。雇用の流動化をはかるのであれば、まずは国が労働者のリススキリングや再就職活動のための仕組み作りを行うことが優先であり、これを使用者が労働者の地位を一方的に奪う「解雇」とパッケージ化するのには誤りです。

また、労働者の賃上げは重大な課題ですが、これが解雇規制の緩和による中高年労働者の口減らし（解雇）によりなされる

るのであれば本末転倒です。加えて、使用者が労働者を解雇しやすくなることにより、正規雇用者の地位は不安定化します。「格差是正」が正規労働者の地位を非正規労働者に近づけることで実現するなど許されません。労働者の地位が不安定化することにより、労働者は使用者を信頼して安心して働くことができなくなり、労働者のパフォーマンスが低下したり、職場の雰囲気が悪化したりすることも懸念されます。

戦争させない！戦争準備にも反対 11・3北九州集会



★とき 11月3日（日・祝）
14時～
集会後 JR 小倉駅までデモ行進
★ところ 勝山公園（図書館近くの広場）
皆様の参加をお願いいたします。

今回の自民党総裁選において、この解雇規制の緩和の主張に正面から賛同する候補者は他に



にいませんでしたが、これからも注視が必要です。

★映画と読書のすゝめ

宮部 みゆき
「幻色江戸いよみ」
(新潮文庫)

1994年7月新人物往来社より刊行。この「幻色江戸いよみ」は1991年第13回吉川英治文学新人賞を受賞した「本所深川ふしぎ草紙」、「かまいたち」に続く宮部みゆきの3冊目の時代小説作品集。

江戸の四季折々の風物を背景として描かれている12の物語。

益市で大工が拾った迷子の男の子。迷子札を頼りに家を訪ねると、父親はすでに亡く、そこにいた子と母は共に行方知らずだが、迷子とは違うという…（まひこのしるべ）。

年に一度、神無月の夜、病弱な娘のために盗みを働く畳職人とこの不可解な盗人を追う岡っ引きの哀切極まりない物語である。

「神無月」という題名が象徴するように、神に見捨てられた父娘を、唯一救うことができる可能性を持った男がその捕縛者である岡っ引き。

下町の人情と怪異を四季折々にたどる12編。切なく、心温まる、ミヤベ・ワールドの新境地です。